

詩

奨励賞

あなたと生きる

西軽海町 中座久美子

二人でテレビを見ていた時

「ねえ！私 この次生まれてきた時

鼻が高く美人で生まれてくるからね」

といった。主人は

「今のままでいい それでなければ、

ナカザクミコとわからない」

とぼそつという。この言葉に後々救われ

る

ある時

「手に手にとって死んでほしい」

といった 私は

「九才年下だから、無理！」

主人が息をひきとつた時 とつさに

「追いかけて 死ぬね！」

と予期せぬことをさげふ

さけんだ言葉と裏腹に

喪失感を抱きながら

生きようと生きようと

生きることに強くなる

年々歳々私の心の目には

いつもあなたがいる

次の世はあなたと一緒にになれるかは

神様にしかわからない

今は真実の愛の中で

あなたと生きようとしている

果報者

ピエロ

八幡はな 覇七な

君を笑顔にしたい

だから僕はピエロでいい

君が他の誰かといてもいつもおどけてる

誰も愛の深さをはかれない

だけど僕は君を笑顔にしたい

声もださない

涙も見せない

僕の全ては全て化粧の下にある

悲しくはない

苦しくはない

だって僕は知ってる

かけがえない愛の輝きを

きつと笑われながら死んでゆくのがピエ

ロ

そして笑いながら死んでゆくのもピエロ